

2025

# CAMPUS ASIA PROGRAM

キャンパスアジア・プログラム  
事業報告集



# 目次

メッセージ .....	2
2025年度のキャンパスアジア・プログラム .....	2
プログラム生の学び .....	4
立命館プログラム学生の学び .....	5
中韓プログラム学生の学び .....	6
2025年度修了生の進路・就職状況 .....	7
キャンパスアジア同窓会 (CAP+) .....	7
日中韓プログラム生卒業論文タイトル .....	8
CAMPUS ASIA HOMIES (学生団体組織) .....	9
修了式 .....	9
キャンパスアジア・プログラム協議組織 .....	10
広報・成果発表 .....	11
2025年度のあゆみ .....	12
【2025年】	
【2026年】	
プログラム生の紹介 .....	13
広東外語外貿大学	
東西大学校	
教職員紹介 .....	13

## 2025年度のキャンパスアジア・プログラム

本プログラムも常設化から9年目を迎えました。今年度は7期生が卒業を迎えます。8期生、9期生は元気に韓国(釜山)、中国(広州)での移動キャンパスに参加しました。今年度は、2周目の1学期をAPUで、英語の授業を中心とする学びを行うアジアグローバルコース(AGコース)に立命館からの参加者もありました。現行のキャンパスアジア・プログラムは、一旦今年度から立命館での募集を停止し、今後はリニューアルを計画しています。

一方、東西大学校・広東外語外貿大学のCAP生たちも立命館での充実した学びを満喫してくれました。特に、立命館小学校に訪問して交流するサービス・ラーニングや、立命館宇治高等学校との授業交流など、活動範囲をキャンパスの外にどんどん広げています。今年度も、この1年間のCAP生やCAPに関わる教職員、皆様の活躍の様子をお届けしたいと思います。

### プログラムの3つのコース

#### 1. キャンパスアジアコース

中国・韓国に1年ずつ2年間留学するコース。従来のプログラムと同様の方式で実施。

#### 2. アジアグローバルコース

2年間4学期のうち、3学期は中韓に留学し、1学期は立命館アジア太平洋大学で英語で学ぶコース。キャンパスアジアコース生から選抜します。

#### 3. インテンシブアジアコース

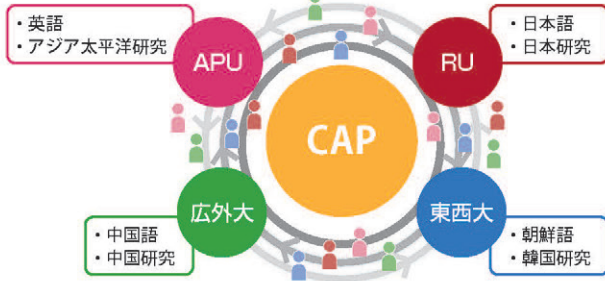
立命館アジア太平洋大学の学生が、中国・韓国に1学期ずつ1年間留学するコース。キャンパスアジアコースのプログラム生たちと共修します。



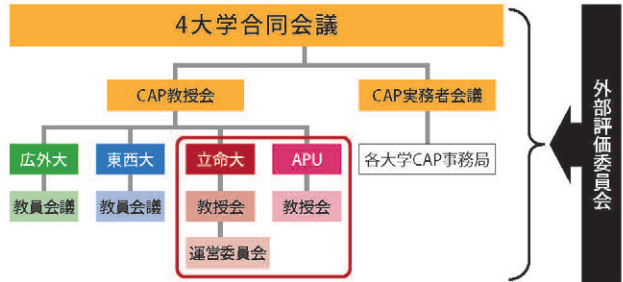
# 東アジアグローバルリーダー養成のための 日中韓共同運営移動キャンパス



## 【日中韓移動キャンパス（2年間）】

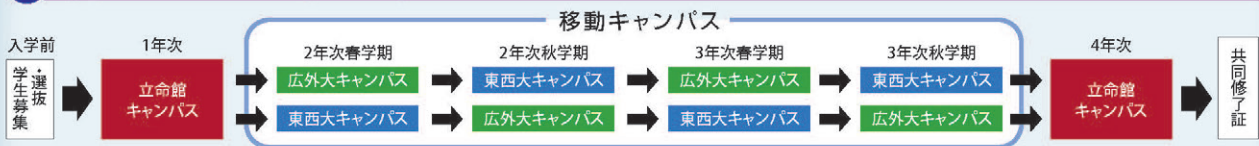


## 【運営体制】

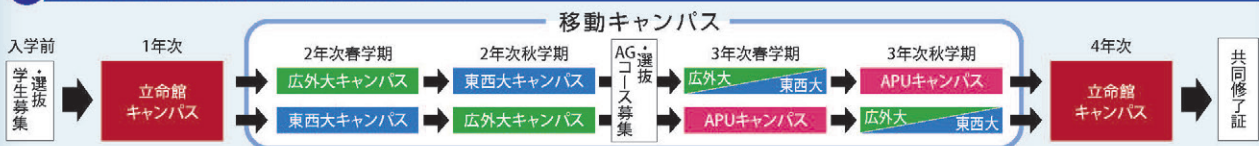


## 【移動の流れ】

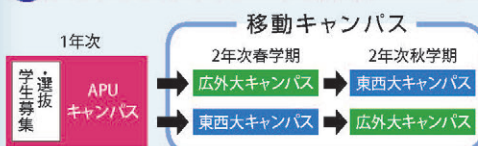
### 1 キャンパスアジアコース（CAコース）



### 2 アジアグローバルコース（新設：AGコース）



### 3 インテンシブアジアコース（新設：IAコース）



## 各キャンパス共修図

学年	RU	APU	広外大	東西大
1年次 春/秋学期	RU A 9名, RU B 9名	APU A 1名, APU B 1名	広外大 A 10名, 広外大 B 10名	東西大 A 10名, 東西大 B 10名
2年次 春学期	RU A 10名, RU B 10名		広外大 A 9名, 広外大 B 10名, APU A 1名, APU B 1名	東西大 A 9名, 東西大 B 10名, RU A 1名, RU B 1名
2年次 秋学期	RU A 10名, RU B 10名		広外大 A 10名, 広外大 B 10名	東西大 A 10名, 東西大 B 10名, APU A 1名, APU B 1名, RU A 1名, RU B 1名
3年次 春学期	広外大 A 9名, 東西大 A 9名	広外大 C 1名, RU C 1名, 東西大 C 1名, APU A+B 2名	RU A 8名, 東西大 A 10名	RU B 9名, 東西大 B 10名, 広外大 A 10名
3年次 秋学期	東西大 A 9名, 広外大 A 9名	東西大 D 1名, 広外大 D 1名, RU D 1名, APU A+B 2名	東西大 A 10名, RU A 9名	広外大 A 10名, RU A 8名
4年次 春/秋学期	RU A 9名, RU B 9名	APU A 1名, APU B 1名	広外大 A 10名, 広外大 B 10名	東西大 A 10名, 東西大 B 10名

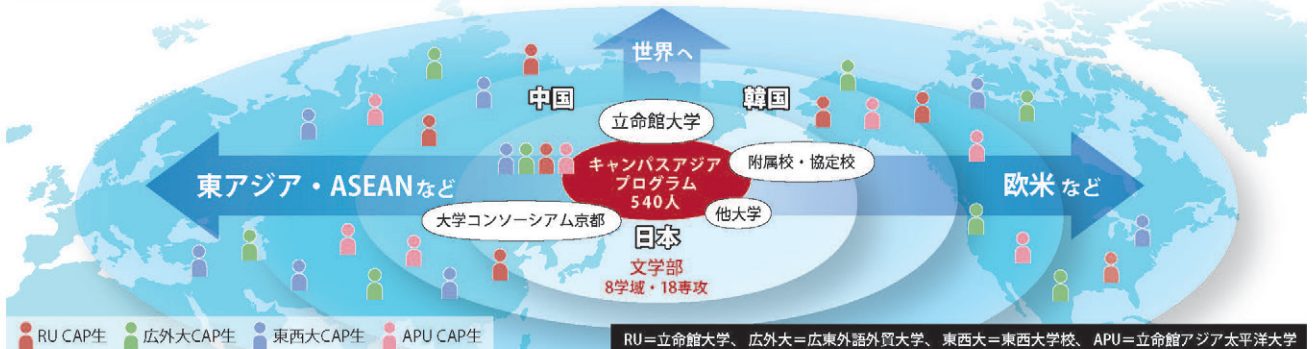
## 本事業の成果

## 【人材育成目的】

### 東アジア グローバルリーダー

- 実践的な中国語・朝鮮語・英語の語学力
- 多文化間調整が可能なコミュニケーション能力と判断力
- 東アジア人文学の専門的知識と分析力

東アジアを中心とする  
グローバルな舞台で  
実践的に活躍する人材へ



## 立命館・APUプログラム学生の学び

2025年度は2回生（11名）、3回生（12名）、IAコース生（1名）がそれぞれ2グループにわかれて移動キャンパスに参加しました。韓国・東西大学校、中国・広東外語外貿大学ではプログラムだけにとどまることなく、さまざまな行事に参加して知見を得ることができました。学内外での交流活動を通して、コミュニケーション力の向上をはかるとともに、異なる文化・価値観への理解を深めることで、他者への共感力や適応力を培うことにもつながっています。また、秋学期には3回生1名がAPUへAGコースに参加しました。よりグローバルな環境の中で学びを深め、更なる広い視野を持った人材への成長が期待されます。

### 韓国・東西大学校



### 中国・広東外語外貿大学



#### 東西大での主なアクティビティ

日韓パートナーシップ	学術エキスポ
MT活動	
LOLプログラム	
Buddyプログラム	
文化祭	

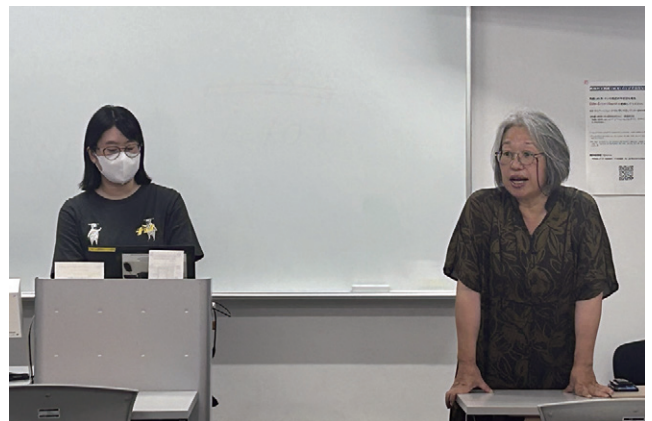
#### 広外大での主なアクティビティ

日本語交流会	世界文化祭
広東語講座	
日中交流イベント	
餃子作り体験	
茶道体験	

## 立命館アジア太平洋大学 (APU)



## 一時帰国中の集中講義

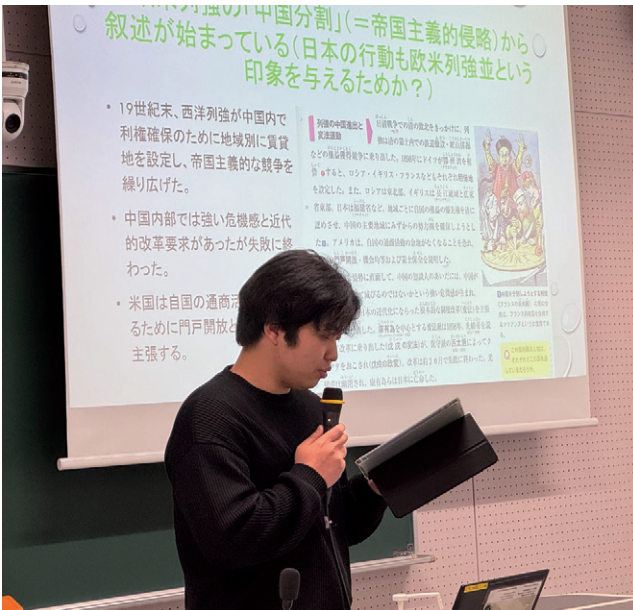


# 中韓プログラム学生の学び

春学期に中国20名、韓国14名、秋学期には中国20名、韓国13名のCAP生を受け入れました。昨年度に引き続き立命館小学校との小大連携事業として「言語を通した未来の架け橋プロジェクト」を行いました。小学校に向いての交流合同授業に加え、週1回の中国語・朝鮮語学習「放課後プロジェクト」では、小学生に対して中韓CAP生が個別指導し、保護者を招いての成果発表会が行われました。

また、立命館宇治高等学校では、授業内での中韓CAP生との交流会が開催され、代表学生の発表や小グループに分かれてのディスカッションを行い、互いの学校生活や文化について知見を深める充実した時間となりました。

## 授業の様子



## CAP×立命館宇治 学生交流会



## 立命館小学校との交流



### 各種ガイダンス・アクティビティ

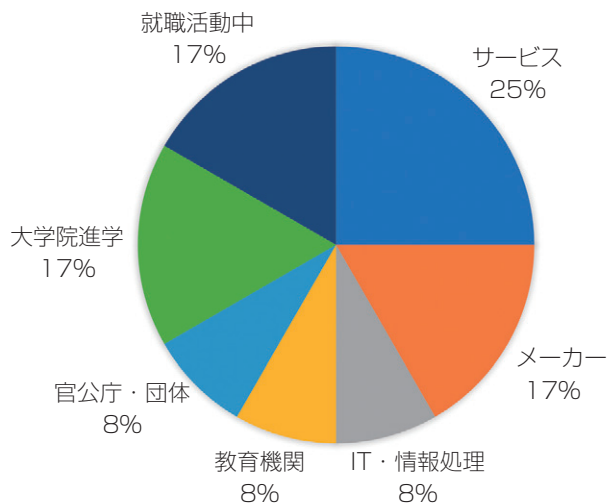
履修ガイダンス	生活ガイダンス	共同研究室ガイダンス
帰国ガイダンス	グループ面談	Campus Asia Homies活動

### キャンパスアジア専門科目

キャンパスアジア演習Ⅲ・Ⅳ	キャンパスアジア日本研究Ⅰ～Ⅳ	日本語（総合）Ⅰ・Ⅱ
日本語（聴解口頭）Ⅰ	日本語（ライティング）Ⅰ・Ⅱ	日本語（キャリア日本語）Ⅰ・Ⅱ

# 2025年度修了生の進路・就職状況

2025年度修了生は、コロナ禍で始まった大学生活の中でプログラムでの学びを進め、コロナ以降初めて中国・韓国両方の現地での移動キャンパスを経験しました。卒業後はプログラムで培った経験や語学力を生かした国内外での活躍が期待されます（具体的な業種は下表を参照）。中韓プログラム生もそれぞれの国内での就職・進学だけでなく、日本をはじめとする海外の大学院への進学を希望するなど、キャンパスアジアから世界への挑戦を目指す学生も増えています。



## キャンパスアジア同窓会 (CAP+)

2025年度同窓会は2026年1月31日に開催され、久しぶりにCAP修了生が会する貴重な機会となりました。当日は日本人修了生に加え、日本の大学院に進学したり、日本企業で活躍している中国・韓国の修了生も参加し、再会と交流の場として大いに盛り上がりました。

また同日には、韓国・釜山においても東西大の同窓会が開催され、日本とオンラインで接続するかたちで、日中韓三カ国の代表修了生によるスピーチが行われました。スピーチでは、プログラムで培った多文化理解や国際的な学びをどのように現在のキャリアへとつなげているのかが語られ、参加者にとって大変有意義な内容となりました。

今回の同窓会を通じて、学年や国境を越えた絆の大切さが改めて実感されました。今後もCAP生同士が継続的に連携し合えるよう、豊かな交流の場としての同窓会組織の更なる充実とネットワーク強化に取り組んでいきます。



# 日中韓プログラム生卒業論文タイトル

キャンパスアジア・プログラムで学び、キャンパスアジア教授会で修了が認定された学生には、3大学が共同で発行するプログラム修了証が授与されます。修了認定には、2年間の移動キャンパスを完遂すること、卒業論文のサマリーを日中韓3カ国語で作成することなどが条件となっており、キャンパスアジア・プログラムの学びを大成させることが求められます。2025年度に認定された修了生のリスト、および修了生が提出した卒業論文のタイトルは以下の通りです。

## 立命館大学の修了認定

### ①2026年冬認定（2026年3月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
古藤 紗英	5	個人の痛みを社会の問題へ —『82年生まれ、キム・ジヨン』の共感と可視化—
安達 好香	6	日本語学習者向けのビジネスカタカナ語彙リストの提案とその分析
稲田 凜	6	Why Klara Got Dumped: What Kazuo Ishiguro's Klara and the Sun Teaches Us About Using AI
佐瀬 実咲	6	帰国事業が生みだした結果について
鈴木 花奈	6	中華圏白蛇伝映画における侍女の表象
古川 桃歌	6	中国の耽美文化とその消費者意識 —2016年から2024年を中心に—
池口 夏希	7	日韓における《キンキーブーツ》の受容と日本原作演劇の海外進出について
菊地 香音	7	台湾ホラー映画は国内でどのように受容されているのか
佐藤 凪紗	7	韓国格安航空会社LCCにおける雇用調整の実態と労働への影響 —新型コロナウイルスにおける済州航空の脆弱雇用層への影響分析—
蔦野 朱里	7	創作中国茶に学ぶ現代的嗜好形成と日本茶文化の再編
西山 理那	7	韓国映画「お嬢さん」における二人の女性 —日本統治時代と同性愛—
二橋 玲衣	7	日本の地方都市と中国人観光客——飛騨高山を例に

## 広東外語外貿大学の修了認定

### ①2025年夏認定（2025年7月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
王 心仪	7	博物馆与游戏产业跨行业联动的比较分析——以中国的“三星堆博物馆·原神”联动和日本的“福山美术馆·刀剑乱舞ONLINE”联动为例
王 博灏	7	东亚文化共同体视域下中日韩濒危语言、方言的保护政策：基于多案例的对比研究
梁 蓝心	7	中日韩古典文学中的女性形象研究—以《红楼梦》《好色一代男》《春香传》为例
谢 梦琦	7	疫情后中日旅游业复苏策略的对比与启示
申 美瑞	7	中日拉面比较研究
鲁 佳颖	7	中日妖怪比较研究：以文化背景与形象的差异为中心
孙 嘉雯	7	日韩偶像形象比较分析——以《PRODUCE 101》系列节目为例
黄 一家	7	关于胡适与铃木大拙的禅宗研究的比较研究
周 昊坪	7	从海德格尔存在论视域看村上春树存在论思想——以《存在与时间》和《1Q84》为例
梁 可馨	7	从“一人活动”的比较中看日韩价值观的变化
陈 俊康	7	关于“手”的中日惯用语的对比研究
周 语	7	中日城市化比较—以历史变迁、城市病与未来发展为中心—
王 宇璇	7	《贫困与社会支持：中日老年女性养老贫困现状分析》
方 星睿	7	二战时期日本的鸦片战争书写及其东亚回响
张 悦	7	中日妖怪文化研究 —以文化产业中的发展对比为中心
郇 艺源	7	关于《西游记》在日本的吸收与变化过程研究
刘 紫芊	7	中日大学思想政治教育比较研究
冼 子君	7	在虚拟网络下的文化出海——以虚拟主播为例
刘 彦彤	7	中日传统服装的比较研究及对现代发展的启示——以颜色和花纹为例
林 怡恂	7	中日推理小说的叙事特征与艺术特色的比较研究—以东野圭吾《白夜行》和紫金陈

## 東西大学校の修了認定

### ①2026年冬認定（2026年2月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
노일권	5	한일 고양이 산업 비교 분석: -용품과 이미지 브랜딩을 중심으로-
최윤영	4	중국 여성의 한국 화장품 구매의도에 미친 한류의 요인 분석
오민엽	5	한·중·일 메신저 앱 닉네임 사용 문화 비교 연구
윤수현	5	한국과 일본의 게임 인식 차이가 산업 발전에 미친 영향
이동현	5	한일 직장인 퇴근 후 생활패턴 양상
이예진	5	한일 외국인 노동자 고용 정책 비교 연구
조하린	5	마르크스-레닌주의의 중국적 재해석과 시대별 변용 -마오쩌둥·덩샤오핑·시진핑 시대를 중심으로
윤예원	6	한·중 PPL의 진화 양상 비교 -예능 콘텐츠 사례를 중심으로-
한세류	6	초면 서비스 접객 상황에서의 한일 언어 선택과 문화적 오해
이예빈	7	교토의 오버투어리즘 현상 분석과 정책적 대응에 관한 연구
한지수	7	한류의 발전사와 양면성 -미디어 속 한국과 실제 한국의 괴리

## CAMPUS ASIA HOMIES (学生団体組織)

立命館大学・立命館アジア太平洋大学・東西大学校（韓国）・広東外語外貿大学（中国）の4大学に所属するプログラム学生が親睦を深めるとともに、各々の国の言語や文化を理解しより深い認識を得るために活動を行うことを目的として、2022年5月に発足しました。

タンデム・パートナー制度を用いた自主学習および学習報告や、大学キャンパス内外における学生間での国際交流を通じて、プログラム生としての成長を図るとともに、3カ国の学生たちによる主体的な学びを実現する一助となっています。

## 修了式

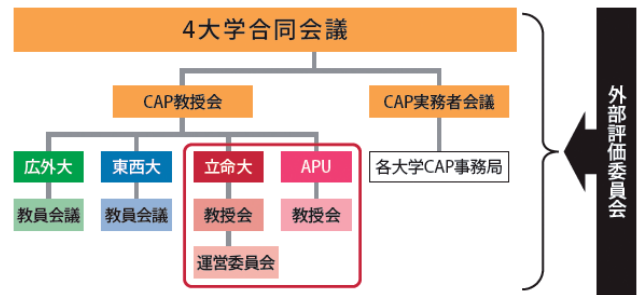


2026年3月21日、2025年度卒業式に先立ち、キャンパスアジア・プログラム修了式を挙行了しました。式では、プログラム教員より温かい祝辞が述べられ、学生たちは4年間で培った学習成果や留学経験を改めて振り返る機会となりました。また、プログラム生同士の結びつきや、国際交流を通じて形成された多様なネットワークの意義を再認識する場ともなりました。長期にわたる学びの蓄積は、学生一人ひとりの確かな成長として結実し、今後、社会の一員として幅広く活躍することが期待されます。

# キャンパスアジア・プログラム協議組織

## 【運営組織】

第3モードカリキュラムが5年目を迎え、日中韓4大学の組織による運営・協議は滞りなく進んでいます。



## 4大学教職員合同会議・実務者会議

2025年度は、韓国・東西大学校において会議が開催されました。本学からは事業団長をはじめ、プログラム教職員がオンラインで会議に参加しました。各大学によるプログラムの現状報告や学生の情報共有、ポストCAPをめぐる議論など、今後のプログラムについても忌憚のない活発な議論を交わしました。(7月14日)



## キャンパスアジア事務局会議

月1回開催している事務局会議では、プログラムの実務に携わる教職員がプログラムの細部にわたる事項を確認・検討するとともに、派遣・受入CAP生の学習・生活状況に関する情報を共有して必要な対応を協議しています。日常的な情報共有や議論も含めて、円滑かつ発展的なプログラム運営を担っています。

## キャンパスアジア教授会

CAP生の修了認定や共同運営科目の新設など、教学を掌るCAP教授会は、日中韓4大学によりオンライン会議およびメール会議で実施されています。今年度は6月・2月に開催し、日中韓あわせて43名の修了生を輩出するとともに、教学の質的向上に関する議論を交わしました。

## 外部評価委員会

第3モードの最終年度にあたり、国際交流および異文化教育の分野で高い専門性を有する外部有識者3名を招き、第2回外部評価委員会を開催しました。委員会では、第3モード開始以来の事業成果について客観的な評価をいただくとともに、事業終了後に予定している新たなプログラムの企画・運営に向け、実効性の高い提言をえました。(12月4日)



## キャンパスアジア運営委員会

本学では、文学部教授会、文学部執行部との連携を密にし、プログラム全体にわたる検討と承認を行うキャンパスアジア運営委員会を設置しています。プログラムの進捗状況や課題を共有するとともに、緊急時等の対応についても協議する場となっています。

# 広報・成果発表

キャンパスアジア・プログラムウェブサイト（[www.ritsumei.ac.jp/campusasia/](http://www.ritsumei.ac.jp/campusasia/)）では、本プログラムに関する基本的な情報を公開しています。動画を始め、プログラムで創りだされたさまざまな成果を発信するコンテンツを公開しています。また、キャンパスアジアブログは、立命館プログラム生と中韓プログラム生によって記事が執筆され、留学生活の生の声を伝えています。公式インスタグラム（[ritsumei\\_campus\\_asia](https://www.instagram.com/ritsumei_campus_asia)）では、プログラム生の日常的な授業や活動、留学中の様子などについても随時発信しています。

## キャンパスアジア・プログラムウェブサイト



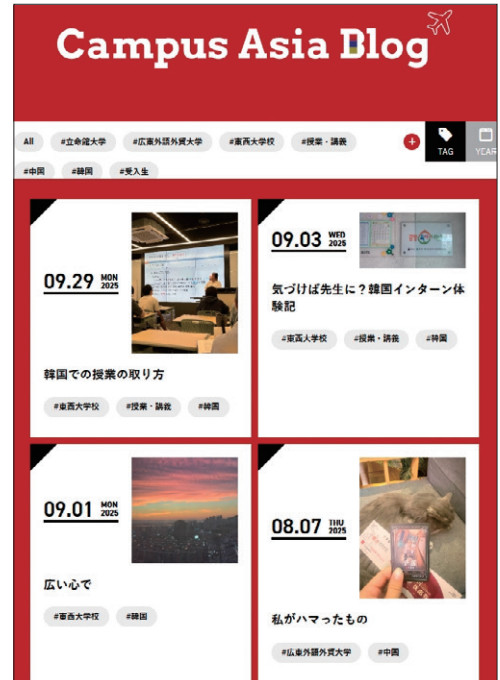
## 公式 Instagram



## 公式 YouTube



## 公式ブログ



# 2025年度のあゆみ

## 【2025年】

4月7日	立命大 春学期開始
6月9日	キャンパスアジア教授会
6月23日	韓国・東西大学校 春学期終了
6月30日	中国・広東外語外貿大学 春学期終了
7月14日	4大学（立命館・APU・東西大・広東外大）合同会議（於：東西大学校） CAP×立命館小学校「言語を通じた未来の架け橋プロジェクト」 発表会
7月22日	立命館8期生キャリアセミナー
7月25日	立命大 春学期終了
8月1日	2025年度秋学期渡航前ガイダンス
9月1日	韓国・東西大学校 秋学期開始
9月15日	中国・広東外語外貿大学 秋学期開始
9月16日～18日	中国・韓国プログラム生 生活・履修・共研ガイダンス
9月26日	立命大 秋学期開始
11月6日	10期生結団式
11月21日	CAP×立命館宇治高等学校 学生交流会
12月4日	第2回外部評価委員会
12月20日	韓国・東西大学校 秋学期終了
12月26日	中国・広東外語外貿大学 秋学期終了

## 【2026年】

1月9日	CAP×立命館小学校「言語を通じた未来の架け橋プロジェクト」発表会
1月13日	立命大 秋学期終了
1月31日	キャンパスアジア・プログラム第3回同窓会総会
2月10日	キャンパスアジア教授会
3月2日	中国・広東外語外貿大学 2026年度春学期開始
3月3日	韓国・東西大学校 2026年度春学期開始
3月17日	中国・韓国プログラム生 2026年度春学期 オリエンテーション
3月18日	中国・韓国プログラム生 2026年度春学期 生活ガイダンス
3月21日	立命大キャンパスアジア・プログラム修了式
3月25日	中国・韓国プログラム生 2026年度春学期 履修ガイダンス

# プログラム生の紹介

## 広東外語外貿大学

### 春学期新規受入生

YUAN Zhexiao	WENG Jietong	KUANG Zhen	ZHAO Yumo
ZHANG Yong	DENG Yuyun	PAN Jingwen	FANG Zhibin
YANG Ying	LIU Liqin	LIANG Nuoxian	

### 秋学期新規受入生

GUO Xiatong	GUO Limin	SHI Wanshu	ZHANG Jiaqi
ZHANG Xuanyuan	CHEN Yuxuan	CHEN Hao	CHEN Xingyu
LO Yitzu	LIN Yanshen		

## 東西大学校

### 春学期新規受入生

LEE Dana	LIM Juyeon	IM Jeongeun	WOO Junhee
KIM Heewon	JUNG Yeonseung	HWANG Cheolhwan	RYU Soobin

### 秋学期新規受入生

KIM Jihan	KIM Hyeongyun	GO Jieun	SON Jiwon
CHOI Chanyoung	CHO Soyeon	HWANG Seohyun	YOON Yijung

## 教職員紹介

〈事業団長〉	遠藤 英樹				
〈担当教員〉	上野 隆三	庵谷 由香	金津 日出美	尾崎 順一郎	
〈担当職員〉	平田 良佑	朴 香連	西村 葉子	奥家 万理奈	

## 2025年度 キャンパスアジア・プログラム事業報告集

---

発行日 2026年3月31日  
編集兼発行者 立命館大学文学部 キャンパスアジア・プログラム  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
<https://www.ritsumei.ac.jp/campusasia/>

---



# CAMPUS ASIA PROGRAM

